

各 位

株式会社アルプス技研  
(コード番号:4641 東証二部)  
管理本部 企画部

平成 15 年 12 月期 (平成 15 年 1 月 1 日から平成 15 年 12 月 31 日まで) 決算について

株式会社アルプス技研の平成 15 年 12 月期 (平成 15 年 1 月 1 日から平成 15 年 12 月 31 日まで) 決算につきまして、下記概略ご説明申し上げます。

【 】 連結決算

1. 連結決算の主要数値	(百万円未満切り捨て、%は小数点第一位未満を四捨五入)	
売上高	166 億 7,500 万円	(前期比 +19 億 7,000 万円、 +13.4%)
営業利益	9 億 2,500 万円	(同 +3 億 5,300 万円、 +61.7%)
経常利益	8 億 8,000 万円	(同 +3 億 600 万円、 +53.2%)
当期純利益	2 億 7,600 万円	(同 +2 億 700 万円、 +298.1%)
2. 事業別売上		
派遣型業務事業	92 億 2,500 万円	(前期比 +15 億 7,900 万円、 +20.6%)
請負型業務事業	71 億 8,800 万円	(同 +8 億 2,000 万円、 +12.9%)
製品・商品等販売事業	2 億 5,000 万円	(同 4 億 2,700 万円、 63.0%)
教育等事業	1,000 万円	(同 300 万円、 20.5%)

連結決算対象でありました子会社 1 社の全株式売却 (平成 15 年 3 月 19 日付) により、製品・商品等販売事業への影響はありましたが、主たる顧客たる製造業からのアウトソーシングに対する認知度や信頼度の高まりにより派遣、請負型業務事業は順調に推移し、当期連結決算は 3 年ぶりの増収増益となりました。

売上高は当社連結開始 (平成 9 年度) 以来最高の 166 億 7,500 万円 (前期比 +19 億 7,000 万円、 +13.4%) を上げ、一方では販管費の伸びを抑制し、経常利益は 8 億 8,000 万円 (同 +3 億 600 万円、 +53.2%) となりました。

また当期純利益は、前期の約 4 倍となる 2 億 7,600 万円 (同 +2 億 700 万円、 +298.1%) となりました。

【 】 単体決算

1. 単体決算の主要数値	(百万円未満切り捨て、%は小数点第一位未満を四捨五入)	
売上高	144 億 2,900 万円	(前期比 +20 億 2,000 万円、 +16.3%)
営業利益	9 億 5,200 万円	(同 +1 億 5,700 万円、 +19.7%)
経常利益	9 億 7,400 万円	(同 +1 億 5,300 万円、 +18.5%)
当期純利益	2 億 8,100 万円	(同 +8,400 万円、 +42.1%)

自動車及びその関連 (カーナビなど) やデジタル家電、携帯電話並びにプリンターなどの精密機器業種からの要請が強く、当期単体決算は 10 期連続の増収増益 (経常利益) となりました。その結果経常利益も過去最高の 9 億 7,400 万円 (前期比 +1 億 5,300 万円、 +18.5%) を上げることが出来ました。一方業務用ソフト開発分野における受注争奪戦の影響をまともに受けた 100% 子会社株式を、特別損失に評価損として計上 (2 億 7,900 万円) し、当期純利益は前年同期比 +8,400 万円、 +42.1% の 2 億 8,100 万円となりました。

## 2. 単体業績の概要

(1) 《派遣・請負別売上高》 派遣売上が総売上の60.0% (前期58.3%) を占めるようになりました。

派遣	86億5,100万円(前期比	+14億2,300万円、	+19.7%)
請負	57億7,400万円(同	+5億9,600万円、	+11.5%)
その他	300万円(同	+200万円、	+115.8%)
合計	144億2,900万円(同	+20億2,000万円、	+16.3%)

(2) 《設計分野別売上高》

	売上高(百万円)	前期比	構成比(前期)
電気機器設計	4,658	+17.1%	32.3% (32.1%)
輸送用機器設計	2,481	+29.4%	17.2% (15.5%)
機械設計	2,494	+21.9%	17.3% (16.5%)
精密機器設計	1,547	+1.7%	10.7% (12.3%)
情報処理設計	2,481	0.1%	17.2% (20.0%)
その他	762	+65.3%	5.3% (3.7%)

(3) 《主要業種別売上高》 売上高上位100社(総売上高の80%)による売上高構成比(10.0%以上)

	売上高(百万円)	前期比	構成比(前期)
輸送(自動車及び関連、航空)	2,658	+40.2%	23.2% (19.2%)
電機(家電、携帯電話等)	4,225	+15.2%	36.8% (37.1%)
精密機器	2,429	+20.4%	21.2% (20.4%)
情報処理	1,741	1.2%	15.2% (17.9%)

(4) 《派遣稼働時間、単価、稼働率》

	平均(前期)	除く新卒(前期)
稼働時間	182.4H (180.1H)	183.2H (180.4H)
単価	3,186円 (3,196円)	3,247円 (3,249円)
稼働率	95.3% (91.9%)	97.9% (96.2%)

【 】 平成16年6月中間期(平成16年1月1日から平成16年6月30日まで)

ならびに平成16年12月期(平成16年1月1日から平成16年12月31日まで)の業績予想

政府の月例経済報告にありますように平成16年度は景気回復基調が見られますが、為替変動要因などによる国内製造業を中心とした景気への影響も懸念されています。

しかしながら少なくとも弊社中間期(平成16年1月1日から平成16年6月30日まで)は、前期の環境が大きく変動する要因は見当たらないという想定のもとに、平成16年度の業績を以下のように予想しております。

	中間期 (前期比)	通期 (前期比)
<b>《連結》</b>		
売上高	83億4,000万円(+3億6,600万円、+4.6%)	178億8,000万円(+12億500万円、+7.2%)
営業利益	4億3,000万円(+1億3,600万円、+46.3%)	11億7,000万円(+2億4,500万円、+26.5%)
経常利益	3億8,000万円(+6,500万円、+20.6%)	10億8,000万円(+2億円、+22.7%)
当期純利益	1億7,000万円(+1億900万円、+178.7%)	4億7,000万円(+1億9,400万円、+70.3%)
<b>《単体》</b>		
売上高	71億8,000万円(+3億3,200万円、+4.8%)	151億円 (+6億7,100万円、+4.7%)
営業利益	3億9,000万円(+4,800万円、+14.0%)	10億2,000万円(+6,800万円、+7.1%)
経常利益	3億9,000万円(+2,800万円、+7.7%)	10億3,000万円(+5,600万円、+5.7%)
当期純利益	1億8,000万円(+1,800万円、+11.1%)	4億4,000万円(+1億5,900万円、+56.6%)

【 】 配当予想

配当は期末に年間配当金としまして1株当たり20.00円を予想しています。

以上